

学生の皆さんへ

【幸か不幸か(?)、勉強は「卒業して終わり」ではありません。

働き始めても、仕事に必要な知識を色々と学んでいく必要があります。最終的に自分はどうなりたいか？

そのために、何を、どういう順番で、どのように学んでいくのか？

やり遂げるために、自分の意識をどう保つか？ルーティーンをどうするか？

こういったことを今でも考えますが、ここに受験期の経験が活きていると感じます。

「ゴールを逆算してやることを組み立てる練習」といいますか？。

学生の皆さんも親さんも、そう受験勉強をとらえると、

モチベーションが保てるかもしれません。

「学志舎での思い出」

オールナイト学習会が一番の思い出でした。

中学生の頃は「徹夜」が未知のイベントだった中、

「勉強」という大義名分で朝方まで起きていて、

大人の仲間入りをしたような気分になりました。

あとは高三時代、ひろ、山下コーチ、小川コーチと

奥の部屋で雑談をしながら

一緒に勉強したのもいい思い出です。

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

「コーチ・coach」とは「馬車」の意。

ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

土木系のお仕事をされているお客様に、CADを販売しています。

これだけでは全く想像がつかないと思うので、背景を簡単に説明します。

皆さんが学校に通ったり、学志舎に通ったり、遊びに行ったりするとき、
当たり前のように道路を使っていると思います。

金華橋を渡ったり、鷺谷トンネルをくぐったりする人もいるかもしれませんね。

道路、橋、トンネル…。こういったインフラを、地震でも壊れないように設計したり、
実際に建設したり、メンテしたりする人たちがいて、「土木技術者」と呼ばれています。

土木技術者たちは、「この道路や橋はどのような形で出来ているかな？」というのを、
「図面」という名前の絵にしてやり取りをしながら仕事をします。

この「図面」をパソコンで書けるようにしたものが「CAD」です。

ちょっと複雑でしたね。道路とか橋とかトンネルの絵を描くソフトを提供している、
それを使いこなせばお仕事している人が早くうちに帰れるようになる、
と思ってもらえればOKです。

ちょっと土木に興味があるな、という方！ぜひ塾長を通してお声がけください！

「仕事を通じた夢」

土木技術者として働いていた時、いろいろと辛い思いをしました。

土木技術者がこういうソフトを使えば、もっと効率的に仕事できるのに…。

と思ってきました。いまは、そういったソフトをお客様に提供しています。

お客様に「おたくのソフトで仕事が楽になったよ!」と言ってもらえたり、

学生さんに「こういうソフトが使える土木って面白そう!」と言ってもらえたり。

そういう経験を少しでも多く積み重ねることが夢です。

卒業生 日下部 達哉

東京大学大学院

工学系研究科

社会基盤学専攻卒

オートデスク株式会社 <https://www.autodesk.co.jp/>

彼には小さいころから「発展途上国で鉄道などのインフラを整備して世界に貢献したい、活躍したい」という目標があり、それが大学受験の時の大きな原動力となったと思います。

実際私が担当したのは高3の時の1年間でしたが、物事に対して自分なりの信念、

芯があるというのが印象で、それは過酷な大学受験の際にも一度もぶれなかったと記憶しています。

将来の夢のために東京大学に行きたいという目標に向かって、

そのために何をすればいいかということもしっかり理解しており、私からは特に何も言うことはなく、

コーチングという形でサポートするだけでした。彼が東京大学に合格したとき、逆に私の方が、

大きな夢を見据えて努力することが、成功への一番の近道なんだということを学びました。

今の彼の様子を知りうれしく思い、一層の活躍を期待しています。

担当コーチ 山下雄太 愛知県在住 皮膚科医



学志舎

智をつけよ そして人の為に活かせ



〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>